



福祉公社は、武蔵野市が全国に先駆け、昭和 55 年に設立した在宅サービス提供機関です。

誌名「羅針盤」はご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩むサービスの基本姿勢を表したものです。

風光る三月、花津月。陽光の輝きが増すにつれ、吹きわたるそよ風は光るのように感じられます。

初蝶は花を探しつつ春の風を泳ぎ、沈丁花もほどなく咲き始めます。その香りは早朝から午前中にかけて、ひときわ四囲に匂い渡ります。こころとからだにやさしい季節の到来です。

皆様にはお健やかに過ごしてください。



<紙面から>

平成 30 年度第 2 回権利擁護事業運営監視委員会 …1 ページ

相続(住まい編)セミナー 新春囲碁将棋大会

北町高齢者センター節分行事 …2 ページ

家族介護教室みどりの輪 デイサービス新春書初め大会

境南小ふれあいサロンワークショップ …3 ページ

お知らせ リレーコラム …4 ページ

## 平成30年度 第2回 権利擁護事業等運営監視委員会



福祉公社が、ご利用者の財産管理を主とする権利擁護事業を開始したのは、昭和 59 年です。

ご利用者の在宅生活を包括的に支援する上で、財産管理ニーズを充足することは、必要不可欠なものでした。

現在の成年後見事業、地域福祉権利擁護事業等はそのノウハウを活かして実施されています。「ご利用者の財産は、ご利用者の幸福のために合理的に管理する」ことを第一と心得て、サービスを提供しています。

着服等の非違行為が頻繁に報じられる昨今、第三者による監視は、事業の適正性、透明性、公平性等を担保するために必須です。

福祉公社では、社内での段階的なチェックに加え、運営監視委員会を設置し、年に 2 回、第三者機関による監視を受けています。今年度第 2 回委員会が 1 月 25 日に開催されました。監視対象は平成 30 年 7 月 1 日から 12 月 31 日までの業務執行です。

ご利用者数はつながりサポート事業預託者 77 名、成年後見人等受任 132 名、地域福祉権利擁護事業 44 名、生活保護受給者金銭管理支援事業 27 名などで、監視対象期間中の出納は 2,020 件、前期に比べ若干増加しました。

委員会に先立つ 1 月 16 日に司法書士の勅使康友委員が、新規契約者の保管物や期間中の各事業の全ての出納を確認しました。

税理士の亀田義治委員から、「福祉公社の『住み慣れた場所で一生を』という理念は大切だと感じている。件数の増加や財政的な問題もあると思うが、職員が明るい笑顔で取り組んでいる姿に、感心している。これからも市民のために頑張ってもらいたい」とコメントを頂きました。

今後も、運営監視委員会の助言を得て、事業の透明性を保ち、より良い権利擁護事業を運営いたします。そして、少子高齢社会における財産管理ニーズに的確に対応し、市民福祉の向上に力を注ぎます。



## 家族・親子で考える相続（住まい編）セミナー



2月2日、市立武蔵野商工会館で、「家族・親子で考える相続（住まい編）セミナー」が開催されました。

セミナーの内容は、現在、社会的に関心を集める「実家や持家の『今後』について考える」です。当日は40名ほどの市民が来場されました。始めに都市整備部住宅対策課による市内の空き家現状の報告があり、その後、空き家予防策と利活用、空き家に関する税など行政書士や税理士からレクチャーがありました。

権利擁護センターは、「親子で考える老いじたく」をテーマに「知っておくべきこと、備えるべきこと」をお伝えしました。不動産や家財についての没後処理の指針提示、終末期医療についての希望表明、地域の在宅介護・地域包括支援センターなど福祉資源を把握しておくこと、エンディングノートの活用などです。



市民の皆様お一人おひとりが、日々の生活に責任を持ち、「自立と自律」を旨としてこそ、地域包括ケア・まちぐるみの支え合いは、より効果的に達成されます。

この観点からも、権利擁護センターは広く他の機関と連携して、介護や将来のライフプラン、老いじたくを広報し、市民の皆様のお力になります。



## 高齢者総合センター 新春囲碁将棋大会



高齢者総合センターでは、毎年1月に囲碁将棋大会を開催しています。今年は29日の将棋大会に23名、31日の囲碁大会に52名の方が参戦され、厳冬を吹き飛ばすような熱戦が繰り広げられました。対局は全4局。それでも皆様は疲れも見せず、ご自分の対局後も、他の盤上の真剣勝負を熱心に観戦され、感想戦で盛り上がっていました。優勝者は、将棋大会は武内晃氏。囲碁大会は四段以上の部が河田康雄氏、初段以上の部が西山昭太郎氏、級の部が渡邊有治氏でした。

皆様、優勝おめでとうございます！

将棋大会



「楽しかった。また来ます」と笑顔の初参加の方や「大会がもっと賑やかになるように、初参加の方が仲間を連れて参加してくれると良いなあ」とおっしゃる常連の方、終始、和やかな雰囲気でした。次回は7月の納涼囲碁将棋大会です。

囲碁大会



**皆さまのご参加をお待ちしています!!**

## 北町高齢者センター 節分 豆まき

センターに赤鬼・青鬼・福娘が来ました。

みずきっこのかわいい子どもたちも加わって、元気よく鬼やらい、豆を撒きました。その勢いに、鬼たちは「イタイ、イタイ」と悲鳴を上げて退散です。

でも心優しいご利用者は、何人もの方が最後に逃げ帰る鬼の手を取って、「有難うね」とねぎらってくださいました。

鬼の目に涙・・・みなさまの優しい気持ちに触れた、温かい涙でした。



## 家族介護教室 みどりの輪 「むせずに食べよう！」

1月25日に開催しました。講師は補助器具センターの田村洋子言語聴覚士です。

摂食嚥下障害の予防と口腔ケアについて、オリジナルの詳細なレジメを基に、懇切丁寧な講義、有益な予防方法が紹介されました。高齢社会の進行で、誤嚥を原因とする誤嚥性肺炎が身近な病気となっています。誤嚥を予防する食事時の注意は、

「◎良く噛んで味わいながらゆっくり食べる ◎一口量は少なめで且つ一定量 ◎疲れたら休む ◎十分飲み込んでから次の食物を口に運ぶ ◎お茶で流し込まない ◎水分には必要に応じ増粘剤を使う」です。

食後の注意は「◎2時間以上体を起こし腹部を圧迫しない ◎口腔内を清潔にする」ことです。

食前のお口の体操とその際に練習する早口言葉も紹介されました。「◎ブリの群れのビリのブリ ◎規格価格か駆け引き価格か ◎うちのつるべはつぶれたつるべ、となりのつるべはつるべでもつぶれぬつるべ、つぶれたつるべとつぶれぬつるべ」。皆様もぜひお試しください。

食べる喜びは人間の元気の源、食べる行為は多くの筋肉を使い、脳を刺激します。

健康長寿は毎日の小さな実践から始まります。レジメをご希望の方は、高齢者総合センター在宅介護・地域包括支援センター（☎ 0422-51-1974）へご連絡下さい。



## デイサービスセンター 新春 書き初め 大会



1月10日、新春のお祝い膳を頂いた後、書き初め大会を開催しました。

お馴染みの書道講師・牧野由紀子先生がご利用者が見つめる中、大筆を取ります。

床に大きな書道用紙を敷いて、漢詩をスラスラと書き上げるパフォーマンスに驚嘆しました。水を打ったように静かな、緊張のひと時でした。

その後、皆様はテーブルについて書道に取り組みます。「賀正」「愛」「梅花」などそれぞれ好きな言葉を選んで書に向き合います。



十数年ぶりに筆を持たれた方は、「緊張しながら書きました」と仰ってましたが、実にお上手。昔取った杵柄、熟練の筆使いに職員、ボランティアから感嘆の声が上がります。先生から朱墨で花丸印を頂いて満面笑顔の皆様でした。

12日にお孫さんの結婚式に参列なさるMさんは、お祝いに自筆の色紙を贈ります。「花」を揮毫する時にみんなで応援しました。お心のこもった素敵な贈り物でした。

書き初め大会で新年を清々しくスタートできた、とのご感想を多くのご利用者からいただきました。



## 境南小ふれあいサロン ワークショップ



1月14日、晴れ渡る冬空の下、境南小学校で恒例の「どんと焼き」が行われました。



無病息災

当日、ふれあいサロンの水墨画とガーデニングの受講者はワークショップを設けて、地域の子もたちと和気あいあいと交流しました。

水墨画では、子どもたちの大胆な表現、自由奔放な筆使いや発想に驚き、新鮮な刺激をもらいました。



水墨画

ガーデニング講座はこけ玉作りのプログラムです。手のひらに植物のいのちを感じつつ、真剣に取り組み、風情ある作品が次々に出来上がりました。



こけ玉作り

親御さんのご感想は、「ふれあいサロンを初めて知った。今の時代に、お年寄りから教えてもらうことは、実に良いこと」との嬉しいお言葉でした。



にこやかな受講者の皆様



# 会社からのお知らせ

## 老いたく講座 ～ 老いたくの基本知識 ～

日時 3月28日(木)10時30分から12時  
場所 高齢者総合センター 4階研修室

### エンディングノート 書き方講座

日時 4月12日(金)13時30分から15時  
問合せ 在宅サービス課 権利擁護センター  
申込 ☎ 23-1165 参加費は無料です。



## 第1回 介護・福祉のお仕事フェア

日時 3月23日(土)14時から16時  
(受付開始13時30分)



場所 武蔵野プレイス4階フォーラム  
第1部セミナー

「介護のリーダーは日本のリーダーになる」  
講師 秋本可愛氏 (株)JoinforKaigo 代表取締役

第2部「カイゴをイメージするワークショップ」  
(高校生以上参加可、飲み物・お菓子の用意あり)

問合せ 武蔵野市地域包括ケア人材育成センター  
申込 ☎ 20-3741

参加費無料、定員約100名

皆様のお越しをお待ち申し上げます。

## 第27回 武蔵野桜まつりに初参加

～ 認知症に関する啓発・情報提供を行います ～

開催日時 4月7日(日)10時～16時

場所 むさしの市民公園

問合せ 総務課 ☎ 23-1165

## 職員リレーコラム

### < 落語 >



権利擁護センター 横山 由美子

今、空前の落語ブームだそうです。私も素人ながら興味津々。ただ以前テレビで見ていて、所謂ツボにはまり、お腹を抱えTVに向かって「ヤメテ！」と叫びつつ、ソファから笑い転げ落ちるといふ、自分でも驚き?!の経験があるため、落語会へ行く時は若干緊張します。それでも、笑うどころか背筋がゾクッという話や、リストラがテーマの新作落語などにも出会えるのは新鮮ですし、その場の空気が、落語独特な「間」をより楽しめるようにしてくれる気がして、また生の落語を味わいたいと思ってしまう。山手線新駅の駅名が話題になりました。人情噺の演目名「芝浜」も人気候補だったようで、駅名決定後、ある落語の本編前の「まくら」では、「高輪ゲートウェイ！一周回って良いんじゃないですかあ。『次は、しばはま、しばはま』なんて恥ずかしいでしょ。落語家だからかなあ。やだよお」と。「まくら」は落語家の個性が楽しめます。

とにかく笑うって気持ちいい!

⇒ 次回は 権利擁護センター 清水 浩

編集・発行 公益財団法人 武蔵野市福祉公社

次号は平成31年4月10日発行予定です



### 福祉公社ホームページ

URL <http://www.fukushikosha.jp/>

武蔵野市地域包括ケア人材育成センター

URL <http://www.m-machigurumi.jp/>

ホームヘルプセンター武蔵野

URL <http://help-musashino.jp/>

### 武蔵野市福祉公社

武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

バス停「武蔵野八幡宮前」下車 ☎0422-23-1165

(総務課 権利擁護センター ケアプランセンター)

☎0422-23-2611 (ホームヘルプセンター武蔵野)

☎0422-20-3741 (地域包括ケア人材育成センター)

### 武蔵野市立高齢者総合センター

東京都武蔵野市緑町2-4-1 バス停「武蔵野住宅」下車

☎0422-51-1975 (管理・社会活動センター)

☎0422-51-1974 (在宅介護・地域包括支援センター

・補助器具センター)

☎0422-51-2933 (デイサービスセンター)

### 武蔵野市立北町高齢者センター

東京都武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

バス停「北町四丁目」から徒歩三分

☎0422-54-5300

業務時間 8:30~17:15 (全て共通)